

令和6年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第二中学校

全国学力学習状況調査(中学校第3学年)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する。	49.5	言語に関する基礎的な知識は身に付いており、文章の中で意見と根拠を区別したり、新しい言葉の使い方を理解して文章を読むことができる。	身に付けた知識を応用して文を読み解くことができていない。意見文をただ書くのではなく、推敲も兼ねてお互いに文を読み合うことを取り入れたい。自分が使わない文体に触れ、言葉の関係性を捉えていく活動が必要と思われる。
	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する。	46.8		
	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する。	51.4		
数学	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	76.1	単元の応用問題は、普段の授業から考える時間をできる限り多くとっていたため、よくできていた。 既習の内容をうまくいかしていることがこの結果からも分かった。	身近な内容から数学的な内容として捉えて考えることに課題を感じた。 単元に一度は身近な内容の問題を生徒に考えさせ、班の生徒と考える時間を設けた。
	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	46.8		
	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ	84.4		
	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	20.2		